

「天・地をつなぐへそ道」

僕は、普段、子ども達の秘めている能力を最大限引き出してあげられるようお手伝いをさせてもらっています。能力とは、本来、脳の内から開いていくのが本当です。へそ的にいうと、「へそがわく」という感じでしょうか。

イメージしやすく伝えると、ビックバンのように一点から外に向かって開いていくという感じです。

僕が、へそ道を受けて約1年半がたちます。

ある日、会社の研究員が血流測定器を持っていて、「試してみる？」と言ってくれたので、へそにつながったワークをしたら左・右脳の血流はどう変化するのだろうと思い試してみました。

その時の、僕の様子は、電話か何かのクレーム対応で、とてもイライラしている状態でした。そんな状態で、まわりで沢山の人が仕事をしている中、へそワークを約1分程した後、脳波を測定すると研究員は、驚きの声をあげました。

「この短い時間で、何をしたの？僕も瞑想をしたりするけど、この状態になるには、数十分は普通かかるよ。」と。

血流の結果をいうと、左脳の血流は下がり、右脳の血流状態の変化はありませんでした。いろいろな見方があると思いますが、頭で「think(考える)」よりも→「feel(感じる)」が強くなったといえます。

違う表現をするとイメージ・感性を感じる力が強くなったと言えます。

そして、直感力が強くなったとも言えます。

例えば、私たちは、日々、いろいろな直感がわいています。

しかし、左脳が強い状態だと、わいてきた直感を、理屈・理論、損得勘定、今までの判断基準で、気のせいにしてしまいがちです。

これをへそ的にいうと「しい」です。直感が「たま」です。

(へそ道では、たましいの定義を、たまは、みたまであり、サムシング・グレートやすべてのもとである直感、目に見えない世界。しいは、嬉しい、楽しい、欲しい、惜しいなどの目に見える

頭の世界として解説しています。へそ道サンマーク出版より)

つまり、へそワークを深めていくと、わいてきた直感をキャッチしやすくなるわけです。今は、情報社会で、たくさんの情報が世の中にあふれていて、いったいどの情報が正しくて、何を信じたらいいのかが、わからなくなっているのではないかと思います。へそを深めていくと、自分にとって必要な情報がちゃんとやってきて選択できる力が強くなると感じました。

ふ〜ちゃん(へそ道家元)は、こんなふうに言っています。「へそは、その人に必要な情報しかやってこない」と。

また、日々、へそワークを深めながらも、大きな体感もなく、自分は上手にやれているのだろうか...という不安が正直ありました。しかし、このように機械によって目に見え